

筆山

第10号 / 1990. 7

土佐中・高同窓会 関東支部会報

〒112 東京都文京区水道1-10-7 同学社気付 ☎03-816-7011 / FAX 03-816-7044 編集人 / 戸田博之 (38回)



国会内の新派閥誕生★★土佐派★★旗揚げ
左より山本、谷川、西岡、堀、中谷の各氏

「明るい」という事

母校出身の国会議員が衆参両院あわせて五人になったという。全国的にも注目される快挙で、明るい話題だ。

明るいといえば私は常々、会社でもどこでもトップは明るくなければいけないと思っている。明るさが活性化をもたらし、社員のやる気を起こさせるのだと。私が歌を好むのもそんなところに自分なりの理屈をつけている。

議政壇上で活躍されている五氏が、保革をとわず土佐人持ち前の「質実剛健」の気風をもって、絶えず政界に新風を吹き込んでくれるなら、混乱する日本の政治も明るくなる。また、同窓はもとより県民一人一人がそれを期待しているはずだ。

昨夏の甲子園出場をはじめ明るい話題が始まった。健学の精神にのっとり、母校が益々発展するよう、折らずにはいられない。その一つの導火線としても、国会「土佐派閥」の誕生は大きな意味を持つ。

衆議院議員 堀

昌雄
(10回生)

私は県立城北中学の海南中学との合併問題の為、193

参議院議員 谷川 寛三
(14回生)

大正九年中村市に生まれる。東大法学部卒。大蔵省関税局長、衆議院議員を経て、昭和五五年参議院議員に当選。参院予算委員。現在二期目。

①当時舎監の「ビン」こと、大野倉之助先生。故人。

②得意な学科は特になし。不得手は数学。

③当時はクラブはなかった。撃剣、射撃

国会議員 5氏に ききました

- ④世界史が書き替えられようとしていたとき、日本が花見酒に浮かれきっていること。
- ⑤百六十円
- ⑥政界は一寸先は闇。一つは夏のサミット、二つ目は秋の御大典花道説。

1年9月土佐中3年に途中入学。当時は一クラス25人位で教えるという形ではなく、自習を中心とした授業は大変素晴らしいと思えました。同期は高知新聞の中島暁君等です。高知高校、阪大医学部、1958年より衆議院議員、当選11回在職30年、最古参の大蔵委員。三根校長を尊敬しています。年末の為替は百五十円位。海部内閣は来年十月迄。

去る2月の衆議院議員選挙で地元高知から新しく山本、中谷両氏と兵庫から堀氏の3名が当選し、参議院議員の谷川、西岡両氏とあわせ、総勢5人もの同窓生を国政の場に送り出すことになりました。編集局では、既に、ご活躍中の同窓議員の人となり等を関東支部の皆さんに少しでも知って頂こうと、アンケートをお願いし、早速回答を頂きました。

1. プロフィール (自己紹介、PR)

2. 質問事項

- ①土佐校時代一番印象に残っている先生は？
- ②一番得意な科目は？ 苦手な科目は？

③土佐校時代のクラブ活動は？

④今、一番腹のたつことは？

⑤今年末のドル・円の為替レートは？

⑥海部総理は年末までその座に留まるか？

「同窓会へ来たなら何回生かが肩書じゃき。なんぼ外で先生と呼ばれたら、ここでは皆んな一緒よ。緊張している私を察したのか、日さんが出席者名簿をさしながら私に声をかけてくださいました。

5議員集合ということで、土佐酒蔵の店内はよそよそしい雰囲気です。しかしそこは土佐のいごつそうとはちきん、お酒がはいるまでの話ですが、乾杯後、これから忙しくなるIさんは(酔っぱらいの世話、大先輩の背広や靴探など)で腹ごしらえを始め、飲めないIさんは隅で会費の勘

Y & Y

たまるか、5人も！

先生囲む一本会



定をし、数少ない後輩ギャルに群がるのはダンディ37回生。椅子席での酒が足りないとの黄色い声はマドンナ28回生。そして座敷ではロマンズホワイト？軍団と5議員の宴。ここは銀座ということをふと忘れさせてくれる程の盛り上がりようです。

そんな中、中谷元さんがしやべり始めました。一本会は木ですが、私は皆様にやっと蓄をつけていただきました。これから一生懸命がんばりますと、いたって真面目に結んだ。そして、新人議員の席順を、若い方から自分の席ま

参議院議員 西岡 瑠璃子
(28回生)

産業資源エネルギーに関する調査会に所属し、質問も経験しました。座右の銘は「歴史は天の命ずる所へ向かう」、生活信条は「今日はすべてです」。

89年夏の参院選で高知県から初の女性国会議員として送り出して頂き、文教委員会、

毎週高知―東京を往復し、時には日曜市や団地で国会ミニ報告を行っています。働く女性や母親の声を国政に反映、ふるさとの発展のため頑張ります。母校土佐高に学んだことを誇りに思います。

- ① 小松博行先生
- ② 国語、数学。
- ③ 放送部、演劇部、文芸部で華やかに活動しました。
- ④ 金権選挙があとを断たないこと。
- ⑤ 現状維持か、円安が穏やかに続く。百五十円前後でしようか。
- ⑥ 任期満了まで存続すると思いが、政治の世界は一寸先のことが分かりませんので。

参議院議員 山本 有二
(45回生)

私は土佐高の世界史の時間にワイマール共和国の崩壊の歴史的事実を知った。少々きざだが、そこに政治家の役割の重大さと、政治に賭ける男のロマンを覚えたのである。

私には、この基本的人権を守り民主主義を確立しようとする強い動機と情熱があると自負している。

- こんな私が、自民党公認で高知県から当選した意味は深い。郷土の輝かしい、封建打破、自由民権の歴史に一行を加える所存で頑張ります。
- ① 元吉先生
- ② 世界史。美術。
- ③ 野球、陸上
- ④ 野党の姿勢
- ⑤ 二百円
- ⑥ 思う

参議院議員 中谷 元
(51回生)

出生地は高知市、土佐高時代には、特に政治に興味はななくもっぱら四無主義の没個性的な人間であったように思う。事業を成す上においては究極のところ自己錬成以外の道なしと思ひ、防衛大学校、幹部自衛官へと進み国防や国際関係論、人員指揮等について身をもって学び、実践してきた。

- 政治の世界に入っても、常に土佐人としての誇りをもって、権力に驕ることなく、社会の発展のために自己錬成に努めてゆく所存であります。
- ① 武中先生
- ② 地理。化学。
- ③ 弓道部、バレーボール部
- ④ 特になし
- ⑤ 百六十円
- ⑥ はい

応援してます

で一人一人説明してくださった山本有二さん。ピンクのスーツのすてきな西岡瑠璃子さんは、母校の活性化に熱心な様子でした。大蔵省で活躍されていた谷川寛三さんはリズムのある口調で、5人で月に一度ライスカレーの昼食会をしようと提案し、賛成の拍手

をあびました。最後の堀昌雄さんは、医師法を作りそれを監視するために議員になったと説明してくださいました。このようにして、一本会は終わりました。国会での5人のご活躍と同窓会の発展を祈って、万歳！！

金沢 由里 (55回)

●三三回 竹中 恵美子

皆様方の御当選で、国政をより身近に感じられます事を嬉しく思います。米国のドレクセル社の倒産は過当なマネーゲームの終焉を告げています。ゴルバチョフ大統領は改革の大なたをふるっています。ブランドンブルグ門は再び統一ドイツの栄光に輝くに違いありません。サッチャー夫人

の手練手管は栄光の遺産です。今尚英国は一等国の面目を保っています。それぞれ国の存亡を掛けて頑張っています。日本の未来はどうなるでしょう。地球の一員であると同時に国家あつての私達です。私は強い危機感を持っています。「時には神の声も変な声もある。」とおっしゃった方

をあげました。最後の堀昌雄さんは、医師法を作りそれを監視するために議員になったと説明してくださいました。このようにして、一本会

は終わりました。国会での5人のご活躍と同窓会の発展を祈って、万歳！！

●五三回 高村 禎二

そうですか。五人の先輩が議員になったんですか。せっかくだから、筆山が主催してこの五人と塩田潮さんとで対談して、これを筆山に載せると面白いと思いますが。



新年会は『再会の舞台』



90年新年総会及び懇親会が一月二十七日東條会館で開かれました。母校からは松浦勲校長、籠尾良雄、楠目博之両先生の御出席もあり、総勢二一五名が新春のひとときを愉しみました。

前半の総会会場では、去年母校が夏の甲子園出場を果たしたこともあり、壇上の方達からは、終始向陽（高揚）した言葉があふれ、また野球部活躍のビデオが繰り返し映し出され、華を添えました。

懇親会の会場に移ってからは、のど自慢の面々がナマの伴奏でその声量を披露し、年男、年女が紹介され、あるいは福引で素晴らしい景品を当てた方もありました。

一方で、今年も懇親会最大の功績は、何年ぶり、何十年ぶりの再会の舞台を提供することでもあったようです。



資産運用の決定版!!

100万円からの新型定期預金

スーパーMMC

お預け入れ期間が3ヶ月、6ヶ月、1年、2年、3年の5タイプ・総合口座にセットすれば自動融資もOK。自動継続、生もご利用いただけます。

1,000万円からの最高利回定期預金

大口定期

お預け入れ期間は期日指定方式(1ヶ月以上2年以内)と定型方式(1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年、2年)がお選びいただけます。自動継続もご利用いただけます。

まとめて、メインバンク。



ゆたかなくらしのパートナー...



四国銀行

支部名簿の作成は 来年に延期になります

事務局からのおわび

関東支部名簿を今年七月に刊行すべく、昨年の九月より準備しておりましたが、三月に開かれた支部常任幹事会の結果、一年延期することになりました。年会費納入の方々には無料で送呈するとお約束をしながら、まことに恐縮ですがあと一年お待ち下さいませようお願い致します。

延期の経緯は母校創立七十年記念事業として同窓会本部名簿が今秋刊行されるため、同時期の発行は勿体ないし、広告協力者にも二重の負担をかけるので時期をずらした方がよいということになったものです。

(5) 名簿作成委員会では九月以来、学年幹事の方々のご協力を得て最新の情報を収集しました。長期的な展望にあって今回初めてコンピュータ入力力でデータ管理することに着手致しました。入力にあたっては大石和男氏(40回)のお世で帝京技術科学大学の学生さんにアルバイトをお願いし、修正等については小島三

郎(40回)、門田健一(43回)浦部孔明(51回)、横川寿彦(52回)、高村禎二(53回)島内聡(53回)の各氏に特にご尽力いただきました。

当初の予定では一月の新年総会出席者にゲラ刷程度の暫定版を配布し、これを踏まえて完全版を七月に発行することになっていました。暫定版とはいえ短時間で作成作業は予想以上に大変で、休日返

コンピュータ導入へ

支部名簿作成のために今回初めてコンピュータ入力を採用しましたが、同窓会としては機械がないため日本テクナート、リコーなどの機械を使用させてもらって、急場をしのぎました。

名簿作成だけでなく、あて名シールの印字、年会費納入のチェックなど幅広いデータ管理をする必要性がこれから高まるものと思われまます。このためにはやはり、同窓会専用の機械が必要で、三月の常任幹事会にはかった結果、購入

上、深夜までの「突貫工事」の連続でした。

こうして一月の総会出席者に暫定版五百部が出来上がったのが総会前日、スベリ込みセーフの綱渡りでした。この間、「筆山」送付用のシールの打ち出しなどその都度の締め切りに追われる日々でした。一年延期で名簿チームは、まだまだ肩の荷がおりませんが、より完全な充実した名簿を作るために、気分を一新し頑張る所存ですので、情報の収集その他変わらぬご協力をお願い致します。

が認められました。

予算は40〜50万円。機種は名簿チームに一任。正式な承認は九月の学年幹事会、一月の新年総会で了承を得なければなりません。これを待っていますと作業が進みませんので、事後承認の形をとる他ありません。誌面を借りまして会員諸氏のご了承を賜りたくお願い致します。

'90前半支部活動報告

▽1月20日 関西支部総会、(大阪・新阪急ホテル)に近藤

顧問、宮地支部長、浅井幹事長出席。

▽1月27日 新年総会(東條会館・出席者二一五名・講演「野田正彰氏37回」)▽筆山編集会議(東條会館)

▽2月10日 広島支部総会、(医師会館)に岩村事務局長出席。

▽3月9日 常任幹事会(赤坂トムCATクラブ・23名)

▽3月17日 東海支部総会に浅井幹事長出席。▽筆山編集会議(ラ・ポール)

▽4月7日 支部名簿作成委員会。

▽4月21日 筆山編集会議、(ラ・ポール)

各支部総会だより

(関西支部会) 一月二十日、大阪・新阪急ホテル。百人以上の参加で盛大でした。

(広島支部総会) 二月十日、広島・医師会館。四十数名出席。二十二回の岡上典夫神父のヒューマニズムあふれる講演は感動的でした。

(名古屋支部総会) 三月十七日、名鉄ニューグランドホテルで出席者約三〇名、

筆山会だより

●第18回ゴルフ

五月十八日(木)茨城県・グランドスラムCC。参加者一七名。快晴微風、絶好のコンディションと思われたが、悪天候に慣れた筆山会常連のベテランが、次々とスコアを崩す中、最若手の小松三男氏(四一回)が初優勝した。

①小松三男(41回) G H N
②上田敏郎(32回) 104 30 74
③千原望(33回) 95 107 30 77
B G 沢村良節(33回) 46 47 93
〔その他の参加者〕

5 北岡 20 久保内 25 山本
25 野沢 30 大町 30 阿部
33 宮川 33 池添 33 竹田
35 中村 38 高田 38 三宅
38 中島(数字は回生)

次回は母校創立七〇周年記念大会として、十月十八日、(木)に行われる。

●年会費納入状況

平成二年度分の納入者数は四月十九日現在五九九名となりました。引き続き未納の方のご協力をよろしくお願ひします。年会費二千元(学生は無料)
振替東京7-142816
土佐中・高同窓会関東支部事務局宛

おめでとう母校70周年

名簿、出版など多彩に記念行事

大正九年に筆山の麓、鏡川の畔に創立された母校の七〇周年を記念して、同窓会本部ではさまざまな記念事業を予定しています。

記念名簿の発行

十一月発行を目標に、作成

委員会（委員長＝山本雅昭氏、二十三回）を組織し、各支部のご協力をいただきながら、

70周年記念出版

母校に熱い想いを込めて昭和最後の甲子園を知る第二四代応援部長、清谷知郎氏（筆名＝崎村泰斗・52回）が平成元年夏、十四年ぶりの土佐高甲子園出場に感激して一気に書き上げた、泣き笑い青春記。

昭和五〇年、幽霊部となり果てていた応援部を再興。OBの応援を得てその年の夏、甲子園のアルプススタンド入りがあった、そ

アルプス席の全力疾走

崎村泰斗 著

——土佐高応援部泣き笑い青春記——

70周年記念事業の一つとして、同窓会が本書を刊行します。
●七月中旬発売
定価1300円（税込）
お申込は母校まで。

して五一年春と連続出場。燃えに燃えた若き情熱。
甲子園は全力疾走の土佐を忘れてはいなかった。本書は題名が示すとおり、応援席の全力疾走の記録であり、同窓一人一人の青春の記録でもある。

基礎資料調査中です。

今回は協賛広告も掲載しますので、多数の会員各位のご応募をお願いします。

また、住所変更などの節は学校内に新設された同窓会本部事務局（電0888-3314394、FAX0888-3317373）までご連絡下さい。

八月十二日に 記念同窓総会

昨年、甲子園の試合と同日同時刻の開催というハフニングでTV観戦の応援総会となったが、こころは七〇周年記念総会として左記の要領で開催の予定。

☆日時 八月十二日（日）
☆会場 三翠園ホテル（高知市鷹匠町）

記念式典は 十一月十七日に

母校の記念式典は創立記念日の前日、十一月十七日の土曜日の午前十時から、母校講堂で開催されます。午後六時

より、三翠園ホテルで祝賀会が予定されています。その他記念講演、記念誌の発行、新聞広告などが検討されており、同窓会では全面的に協力すべく、準備しております。

招待野球

六月十日、今春の選抜野球大会で大阪・北陽

北陽に快勝、 楽しみな“夏”

——記念試合観戦記

六月十日、今春のセンバツベスト4の大阪の名門北陽高校を春野球場に招いて、創立70周年記念試合を行った。当日は梅雨の合間の好天に恵まれ、多数の同窓生がスタンドにつめかけた。松浦校長の挨拶、昭和二十七年に、はじめて甲子園に出場した時の池上（二八回）＝水野（二九回）のバッテリーによる始球式等のセレモニーのあと試合開始。先頭バッター岩崎のライトフエンス直撃の二塁打など、立

高校を春野球場に招いて対戦。高校野球の原点を内外に示しました。第一試合は北陽対宇佐分校。
夜は「全力疾走の夕べ」を市内のサンライズホテルで開催、同窓・関係者多数が参加して土佐高野球の栄光の歴史を語り合いながら、夏の大会に向けて氣勢をあげました。

ち上りから、センバツで大活躍したエースの専門投手を攻め、長短16安打をあげて11点をうばい、守っては昨夏の甲子園投手川村が強打線を7安打・5点におさえ、見事快勝した。北陽0000000050—11×5
土佐102000512×—11×5
（北陽）寺前・和田
（土佐）川村・仙頭

夜は「全力疾走の夕べ」と題して、サンライズホテルで記念パーティーが開かれ、同窓生、関係者約二百名が参加して、土佐高野球の栄光の歴史を語りながら、夏の大会に向けて、氣勢をあげた。県予選は七月十八日（組合せ抽選七月七日）から始まるが、昨年以上に本命不在の混戦と云われており、今の調子を維持出来れば、二年連続の甲子園も夢ではない。

（30回・浅井伴泰）

若者は国際社会を目指す

母校の伝統生かすスイス公文学園

公文教育研究会
取締役教育主幹

岩谷 清水 (27回)

世はまさに明治初期の「文明開化」に代わって「国際化」オンパレード。大学も「国際情報学科」「国際関係論」等、

とりあえずシャッポに「国際」をつけさえすれば、あら不思議、どこからともなく学生が集まってくる御時勢。「国際化」とは、そも何ぞや」と等という議論を飛び越えて、国際化へ、国際化へと草木もなびく、

なびく草木もピンからキリまで。ピンの草木は意欲も学力も、なかなかのもの。二十世紀末期の日本に、希望あり。

かくいう私も、国際教育プログラムとして十四年前からスイス・サマースクールを、八年前からはアメリカ・サマースクールを主宰し、小学生から高校生までを毎年現地で指導してきた。累計生徒総勢はすでに千数百名に達するが、国際的な意識をもった優秀な若者がぞくぞく育ってきている。高い知力と経済力に恵まれた日本人が、今こそ世界の

平和、繁栄のため、第一線に立つて尽くすべき時代がやって来たのだ。

国際社会で期待される役割を立派に果たすことができる人材を育成すべく、私達はここのほどスイスの風光明媚な地レザン(フランス語圏)に、スイス公文学園高等部を設立し、本年九月開設の運びとなった。

国際都市ジュネーブからレマン湖の北側を走ること一時間少々、ワインの町として有名なエイグルから登山電車で急勾配を登ると、人口二千人のハイセンスな町がひろがってくる。この地で三十年の歴史をもつアメリカンスクール(生徒総勢百四十人)校長のオット博士から熱心な提案を受け、同校と公文教育研究会が共同で、日本人のための三年制高校を設立した。

男女共学、全寮制で、週五日、毎日八時限までの授業のほか、寮での自習時間が義務

づけられている。日本人教師は生徒部長兼任の舎監を含め、とりあえず社会、国語、数学の四人だけ。後は総て米国大学卒の専門教師(博士号取得者も多い)による英語での授業。教科としては英語の時間が多く、選択科目として仏語、コンピュータ等があり、米大学志望者には米国史が必修となる。

卒業後は、抜群の学力をつけた英語を生かして日本の大



学へ進学するのも良いが、在学中に実施されるSAT(学力適性試験)や、TOFEL(英語能力試験)の受験準備教育を活用して、アメリカの大学へ正規入学するのが最も有利。現に、過去私のサマースクールに参加した中学生達は、欧米の大学への進学を胸に秘めてこの学園を志願したのだった。

第一期生の応募者(本年三月中学修了者)は定員の三倍もあり、優秀者が特に多かった。

たので、予定数を若干増員して第一期生(三年課程)六九名、短期課程(一年間)三四名を採用し、九月から少人数クラス編成で正規授業を開始する。

学費は入学金五万円、年間授業料(寮費、年二回のヨーロッパ旅行経費など含む)約二百四十万円。一九九三年には横浜市に「新国際学校」としての公文学園中高等学校、(仮称、中一から学年進行で募集)が開校することも決定している。諸外国の学校生徒との交流、共学も年々増加していくはずである。

そもそも公文式というのは、かつて土佐中学の伝統であった「自学自習で学年相当よりも先へ進む」という方針をそのまま組織化した学習法である。この学習法で身につけた高い学力の上に日英仏の最低三カ国語を自由に使えるトラインガルとして国際社会に巣立っていく若者達に大きな期待を寄せたい。

問合せ先

一〇二東京都千代田区五番町 三十三
スイス公文学園事務局
(電)03-288-9045

今、こんなことをしています

⑦

龍馬も、鯨も待っている
ふるさと高知

暮らしいきいき、ビビッドバンク

高知銀行

東京支店 中央区八重洲2-6-21 (電)03-273-3061



詩と音楽の会々長・大阪音楽大学教授

作曲家 平井 康三郎 (5回生)

チェロ・作曲 平井 丈一郎

ピアノ・作曲 平井 丈二郎

〒151 東京都渋谷区代々木2丁目21-10
TEL 03-370-1991

三陽美術印刷株式会社

代表取締役社長

東 條 稲 夫 (28回生)

豊島区南大塚3-38-13 正和ビル
TEL 03-981-3079

有限会社 和 久

橋梁の計画・設計

小 松 三 男 (41回生)

〒236 横浜市金沢区釜利谷町1423-36
TEL 045-782-1008
FAX 045-782-9145

六本木司法書士合同事務所

司法書士 横原 温 幸 (41回生)

司法書士 鶴 和 千 秋 (41回生)

〒106 東京都港区西麻布1-8-20 エメロード
西麻布3F 電話(470)1055 FAX(470)1425

工業用マイクロコンピュータシステム開発
& LANシステム

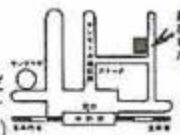
株式会社 マイクロネット

代表取締役 山 崎 郁 太 郎
(41回生)

本社 〒130 東京都墨田区江東橋4-24-4 1103
(TEL/FAX) 03-634-7333
工場 〒314-01 茨城県鹿島郡神栖町神栖2-6-5
(TEL/FAX) 0299-92-7148

有限会社 さんふらわあ商事

代表取締役 瀬 川 和 聲
(33回生)



〒164 東京都中野区中野5-59-1興産ビル

- バブスナック さんふらわあ ☎ 388-9576 PM 7:00~AM 1:00
- バブ スリーエイト ☎ 389-9348 PM 7:00~AM 3:00
- バブラウンジ ビア ☎ 388-2506 PM 7:00~PM 12:00

—— 日曜日は定休日です ——

弁 護 士

笹 岡 峰 夫 (43回生)

東京都千代田区有楽町1-6-8 松井ビル6階
旬報法律事務所 ☎ 03-580-5311 (代表)

CHIKAMI

専務取締役 千 頭 邦 夫

チカミミルテック株式会社 (41回生)

本社 〒780 高知市追手筋1丁目6番3号
TEL (0888)22-1181 FAX (0888)24-5729
東京 〒105 東京都港区浜松町2-1-16第3柏谷ビル
TEL (03)578-6801 FAX (03)578-6802
静岡 〒411 静岡県田方郡函南町桑原1300-227
TEL (0559)74-2724 FAX (0559)74-1998

桜井 前田法律事務所

弁護士 前 田 留 里 (48回生)

〒141 東京都品川区上大崎3丁目
13番21号荏原ビル110
TEL 03-447-9774
FAX 03-447-9775

 新日本証券

取締役副社長 山下 憲祥

本店/〒101 東京都千代田区神田駿河台3-11
支店/全国主要都市 海外13拠点

思い出の先生方⑦

竹村 一水先生 (昭和56年
ご逝去)

父の笑顔

三男・竹村道夫
(39回生)

父は城東中学(現追手前高校)、土佐女子高校に勤めた後、昭和二十九年から五三年まで土佐高校で教職にあった。

この間に恬夫(三三回生)、紀夫(三四回生)、道夫(三九回生)、みよ子(四一回生)の子どもが土佐高校を卒業した。

家庭での父について考えてみても、ただただ優しくかったことばかりしか思い出されな。今回この手記を書くために母と兄妹に取材して再認識したが、父は子どもに「勉強しろ」とお説教したり小言を言うことがほとんどなかった。もちろん子どもたちがそれほど良い子だったというわけではない。子どもが悪いことをしたり、成績が悪かったりしても、父はいかにも「情けないにや」というような顔を

して黙っていることが多かった。子どもは父のそういう顔を見ると反抗する気にもなれず、「あまた父を悲しませてしまった」と反省するのが常であった。逆に子どもが良成績をとったり、仕事で成功したり、何か少しでも親孝行をしたりすると、本当にうれしそう顔をして「大したもんじやにや」と言って喜んでくれた。そういうば、昔の教え子が訪ねてきた時の父の顔も同じであった。わが家には教え子の訪問が多く、一部の人々はほとんど家族同然にわが家に出入りしていたが、多分教え子たちも父のこの無邪気に喜ぶ様を見たくて来ていたのではないだろうか。写真は昭和五六年六月のもので、父の笑顔が偲ばれる。隣にいるのは母である。

父は数学問題を作ったり解いたりするのが何よりも好きで、時には真夜中でも突然起き出して、「問題を思い付いたきに、忘れんうちに書きよかにや」とこそこそしていた。一方で数学に頭脳を使い過ぎるために、その他の面ではあまり頭を使わずに生きているのではないかと思われるところがあった。テレビ番組なども、蝶や鳥などの出てくる「自然のアルバム」とか、チャンバラ時代劇、そして相撲中継など単純なものが好きであった。またひどい機械音痴で、洗濯機やビデオ機器など、ちよつとした電気製品も扱えず、「あんなに頭の良い人が、何でこんなに簡単なことが判らんろう」と不思議がられていた。

自然と親しむことは大好きで、子どもたちや生徒と山歩きや海釣りによく出かけていた。「山は無条件にええにや」というのが口癖であった。一度登山からの帰り道、土砂降りの雨の中で、兄が「これでも、無条件にええかえ」と

聞いてみたら、「やっぱりええにや」と言ったそうである。私自身は、よく海釣りに連れていってもらった。釣りに行く前の晩など、興奮して眠れなかったと父が言っていたことを思い出す。子どものように純真な父であった。酒も煙草も好きで、父に酒を教えられた生徒も多いはずである。現在私がアルコール症専門医になっているのも何

かの因縁かもしれない。昭和五六年の夏、父は自分の仕事にも暇ができたので、また山歩きをして蝶を採るのだと言って鋸を使って展翅板を作っていた。その時に軽い咳をした。それが肺癌の初発症状であった。その四ヶ月後に父は帰らぬ人になった。十二月十一日のことである。三人の息子の禁煙は父の贈物である。



母校だより

教員移動

●新任

上砂 彰彦 (35才) 化学

阪大工修 企業より

有瀬 豊 (30才) 数学

土佐高 (53回) 高知大理卒

公立高より

●昇格

教頭 扇谷 隆男 先生

松尾 功祿 先生

●退職

三枝 重宜 先生

正木 哲夫 先生

元吉 和雄 先生

クラブ活動

●中学テニス (4/5)

全国中学テニス選手権

ベスト4 中2女子

●高校野球 (4/8)

春季大会 準優勝

▽決勝

土佐 000200120 5

高知商 010004011 6

●ハンドボール (4/14、15)

春季大会 優勝

●バトミントン (4/14、15)

春季大会

ダブルス 2位 高校男子

シングル 3位 高校男子

ダブルス 3位 中学男子

□□□

シングル 2位 中学男子

●第四十三回県高校体育大会

登山が五年ぶり、ハンドボ

ールが四年ぶりにそれぞれ優

勝した。また卓球男子単で福

原が優勝。

進学状況

(一) 内は昨年度

北大 2 (2) 筑波 1 (4)

お茶 2 (0) 東大 7 (4)

東工 4 (2) 一橋 2 (2)

名大 4 (1) 京大 6 (5)

阪大 12 (10) 神戸 9 (10)

高知 23 (23) 高医 8 (18)

岡山 12 (17) 愛媛 13 (8)

徳島 9 (14) 九大 4 (3)

青山 14 (6) 慶大 23 (9)

上智 12 (5) 中央 17 (14)

東理 8 (16) 早大 37 (36)

立大 7 (5) 法大 10 (6)

明大 7 (16) 同大 9 (6)

立命 18 (11) 関大 9 (14)

関学 12 (10)

松浦校長談

いわゆる有名難関校では現役がかなり健闘したといえる。尚全国的には、もとより一層の努力が必要。

甚田先生 歳時記①

風 花

田内 瑞穂 先生

冬の天空から、風に乗って舞い降りてくる雪の一片、あれを風花(かざはな)と言うそう。美しいことばだと思ふ。

晴耕雨読、世捨て人の私の茅屋に、時たま訪れる一片の便り、まるで風花の様に懐かしく嬉しい。

ましてや、はからずも目に触れた『筆山』の中に、昔の腕白坊主たちの目覚ましい活躍ぶりを見ると、ただもう、目を瞠るばかり。驚きと喜びで夢を見ているようだ。

オンカンやカマスなどと言った、昔の諸先生の満足気な笑顔がまざまざと浮かんでくる。

「悪りことしの、あの子が

哺、カマンモンぢや。」みんな嬉しげに毒舌をとばして、不明を詫言っている。然し、私にはもう一つの思いがある。

―あれは終戦の翌年。高知市街は焼野ヶ原。何もかも絶望の時代。フト通りかかった土佐中も焼け落ち、堀沿いの樟も焼けただれていた。

然し、校庭にはもう、白い体操服の少年たち三、四十名が、生き生きと整列していた。よく見ると、黒焦げの道にも、もう萌葱色の若芽が健気に芽生えているではないか。

それを見た途端、私はまるで春風が全身を吹き抜けて行くような歓喜を覚えた。新生日本の可能性を直感したのである。

あれから四十四年、私は事ある毎に、あの日の事を想い、戦後の向陽の若人たちに、心

から感謝している。と同時に今は亡き多くの戦友や学友と共に、国の将来を諸兄に托したいと思うこと切である。

《編集局より》

田内先生は昭和二六年より昭和五七年まで、土佐中高で長く国語の教鞭をとられました。愛称「タヌキ」先生は知らぬ人無きロマンチストであり、「春はあけぼの、やうやう白く」の名調子に春眠を誘われた諸兄姉は数知れないと思います。退職後、土佐校時代の逸話を中心に『甚田先生 裸日記』を出版されました。

奇しくも前号まで執筆頂きました吉田先生の後任とし土佐校にいられたとの事で、この欄も力の続く限り執筆下さるとのことです。



お悔やみ申し上げます

井上貴夫磨(5回) 元年7月
砂川 五郎(10回) 元年11月
須藤 喜彦(27回)
川村 浩平(33回) 2年3月
中西 隆敏(35回) 元年12月
川田 俊夫(45回) 2年3月
伊藤(渡辺)絵理子(54回)
元年11月

近況

●二八回 吉田 香

独身貴族を楽しんでいたのが、一転して家庭人となったものの落着くことが出来ず、ボランティアに参加することで、社会との接点を求めています。

数十年前より未開発国で、環境破壊、大気、水や土の汚染等が行なわれ、人々、特に子供達が苦しい生活をしている事を知り、信じられない気持ちでした。今は、地球規模に拡大されつつあり、日本でも各方面で取り上げられるようになりました。「アースデイ1990・日本」も開催です。又、高齢化も地球規模のようです。

我が身の事も考え、現在高齢者問題をメインに環境問題を皆様と一緒に考えたいとN

ACS(日本アドバイザーコンサルタント協会)会員として研修中。情報等を御教え下されば幸いです。

●二八回 酒井 芳美

東京の皆様御元氣ですか。私は、八八年秋から大阪市に居ります。住居は市の中心で立売堀(いたちぼり)にあり、近くには山内家縁の土佐稲荷や壱座橋という地名もあります。

大阪は情報の少ない街なので、のんびりと暮らすには良いところですよ。ただし、ある意味ではダーティでマナーの悪い所もありますが。現在、噴水の専門メーカー(株)光栄に勤める傍、公文大阪南事務局でアルバイトしています。米阪の節は、又御会いするチャンスもあるかもしれませんね。ではさようなら。

大阪市西区立売堀6-6-1
6-301

●三五回 公文 敏雄

(青山出店)「エッ、これが銀行ですか?」場所柄トレンディにと、デザイナーが自由に腕をふるって生まれた東京銀行青山支店。アールデコ風の明るい店舗、ファッションとしても一見の価値がありま

育ち、中小企業取引と個人向け債券、外貨預金、資産活用租税対策などを扱っています。(お問い合わせは
☎ 405-8000)

●四一回 鶴和 千秋

二十年ぶりの卒業式
「お父さん学生服を着いた方がええじゃない?」女房のからかいにわざと涙面を作り、3月25日、快晴の中央大学多摩キャンパスへ出かけた。



昭和44年45年、折りからの学園紛争のあおりで中止となった「よみがえる卒業式」へ出席する為である。変に若やいだおじさん、おばさんの紅潮した顔が集まっている。日頃若者ばかり見ている白亜の校舎がとまどっている様だ。クラスの仲間、ゼミの仲間、駿河台の想い出話に花が咲いた、妙に照れくさい、涙腺の緩んだ一日でした。

出版レーダー

●「愛すべき酔っぱらいに捧ぐ」大酒呑みで「奇人」の美術教師を父にもつ娘が、嫁入り前に綴った父への愛。土佐人もびっくりするほどの呑んべえの、数々の失敗談の中から教師としての親としての苦悩とひたむきな純粋さが感動的に描かれている。

この酔っ払いが実は土佐高26回生のM氏と知れば、同窓として誇らしげな気分になるのはうけあい。同じ題名でテレビドラマ化され、去る二月四日の「東芝日曜劇場」で全国放送された。配役は宇津井健、長山藍子、藤田朋子他。「結婚式の引出物に」「一人の教師の生きざまにうたれる」「幸・不幸は考え次第」など全国各地から反響がよせられているという(一)

松田雅子著。四六変型判。一三〇頁。定価820円。

四国写植刊。問い合わせは0888-4416022水野和宏氏(34回)まで。

●川窪啓資(29回)著「人間と文明のゆくえ」トインビー生誕百年記念論集「日本評論社四六判四一六頁 2570円」。

同期会

●三十回 鍋島 高明

関東地区同期会が、五月九日、原宿のダイヤモンドホールで開かれました。出席者は三五名。公文公、吉田富士子両先生の御出席のもと、延々三時間半にも及ぶ談笑・爆笑の宴は「向陽の空」で幕。

尚、全国大会は七月二八日(土)高知にて開催予定で、百名近い参加が見込まれる。

●三三回 久保内 端郎

関東地区同期会を六月九日皇居そばの竹橋会館にて開催。出張者多く、また梅雨入りの荒天にも拘らず四〇名近くが参加。高知からも久万、板原、北村潔、鈴木四君も駆けつけ、懐かしい一夕を過ごした。川村浩平、溝淵道浩両君の悲報は痛恨の極み、一同その冥福を祈り、来年の再会を期したことであった。白髪とはげの原因に関する討論は結論でず、来年度回しとなる。

展覧会

●陶芸の現在・京都から展日本橋高島屋、5月17日から22日、柳原睦夫氏(28回)ら京都で活躍中の十人の陶芸家の展覧会が開催された。

三六会卒業 30周年大懇親会

三十六回生(三六会)では卒業三十周年の記念に恩師を招いて大懇親会を計画、日時：九月十五日(土)六時場所：滋賀瀬田城址・臨湖庵

会費：会員一名・二万四千円(戸籍上の配偶者は二万円)なお会場は瀬田の唐橋東畔瀬田城址二千坪の名庭。高知からは全日空をチャーターし花博・京都観光を含めたOPPツアーもあるヨ。

(代表幹事 北岡顕史)

「王さま、総理大臣が辞めて帰国してしまいました。」

「総理大臣ぐらいいくらでも居るだろ。また誰か呼んでくれればよいではないか。」

日本の新聞やTVを見ると毎日誰かが「政治が悪い。政治家がナットラン。」とくりかえしている。そういえば私が知る限り、戦後ずうーっとそうだった。そんなに政治がダメなのなら、ひとつ提案がある。

この際思い切って、英国サッチャー女史を日本の首相に迎えはどうか。あちらでは政権が長期にわたったため、少し飽きられているというから、丁度よいかなというわけである。いわゆる英国病を、強腕を発揮して退治した功績はなんと云っても大宰相の名に相応しいし、独・仏・ソを相手にして一歩もたじろ

がないのも、さすが本場のマドンナ政治家である。

もっとも、こちらが頼みに行っても彼女「なによ！なぜ私が黄色い日本人のために働かなきゃならないの？」とあの甲高い英語で追い返されそうである。

それでは矛先を変えて、ゴルバチョフ氏にお願いしてはどうか。

首相のチャーター

来て載く代わりに、いま日本には余っていてソ連にはなくて困っているものを大量贈与する。消費財、資本、技術の三つである。これらがある程度潤沢になれば、ソ連の自由化も少し安定するのではないか。

だから、北方領土などとケチなことを言わず、この際バイカル湖以東を割譲して貰う。



33回 佐々木泰子

すきま風

●三三回生のSさんの娘が、あの「オリヴァー」の子役のオーディションにパスして、帝劇に出演するとか。美貌と美声と見果てぬ夢を子供に托し、今はすっかりステージママ。是非花束抱えていつちやらんと！

●JRジャック 大雪の二月の一木会。銀座、神田、中野と飲み回った常連たち、「こんな日はタクシーより、電車がええ」と、JRに乗ったのはよいが、大声の土佐弁でしゃべくり、ほたえまわり、ハコチンコ疑惑だとか芸者の問題なんかで議事を空転させるようなことはしないと思う。

年俸は千万ドルでも安いものだ。こんな空想は如何か。皆さん！

伊野部彦慧 (35回)

●結婚ラッシュ 五十三回生の学年幹事、高村慎二氏(五月三日)。矢野真実さん(五月十二日)それぞれ挙式。高

村氏は高知出身の美人をもらい、矢野さんは茨城県在住のピアノの先生をする青年に。五十五回生のY&Yコンビ、金沢由里さんは、六月三十日、北海道出身でNTT勤務の青年と結婚した。この青年、婚約中に土佐の猛者どもの「高知では愛の証にサバザシを頭から食うものぞね」を信じて、目を白黒させながら食った。これには土佐の男たちも「こりゃあしやう偉い。由里ちゃんはおまんにやるぜよ」残された五十二回生のT氏、しみじみと「つぎは僕の番ですきに」

編集後記

娘二人の大学・高校受験戦争に大勝利。祝賀の美酒に酔う暇もなく筆山の夏の号の編集スタート。ああ、無情。

本業の方では三ヶ月に一回の米国出張。このタイミングがレイアウトの最後の詰めと不思議に何時もドンビシヤリ。藤宗君、後は頼んだぜよ、土産に洋酒の一本も買ってきて。かくして夏の号も無事完成。感謝。(編集長)